

様式第14号（第5条関係）

令和 6年 4月 1日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市白石島2364番地2

協議会名 白石・島づくり委員会

協議会長名 会長 樋口 栄吉

まちづくり計画策定状況： ☐ 策定済み ☒ 未策定令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 201,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

活動No (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	白石島イノシシ対策部会		201,000
			0
			0
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 白石・島づくり委員会

活動No	1
活動名	白石島イノシシ対策部会

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	白石・島づくり委員会内部組織【白石島イノシシ対策部会】を中心に島民の安心・安全の為、島内で増え続ける有害獣類（主にイノシシ）の捕獲・駆除を行う。持続可能なイノシシ対策体制の構築を行うと同時に島民のイノシシの理解を深め、イノシシ対策部会の活動内容の周知を行う。
【効果】	島民ボランティアによる持続可能なイノシシ対策活動を構築・実施する事により、島内で増え続けるイノシシに歯止めをかけることができ、島民個々ができる対策への呼びかけにより農作物への被害を減らし、島民が安心して安全に生活できる環境の構築を行う事ができる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

白石島全域

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 24 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わる人数： 14 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 10 人（イ）
○団体： （団体名） 白石島イノシシ対策部会 ， （団体名）
（団体名） ， （団体名）

5 実施内容

毎年4月に、白石・島づくり委員会内組織【白石島イノシシ対策部会】の総会を行い実施報告と計画、決算報告を行っている。狩猟免許有資格者の指導のもと、島内の箱罠などを維持管理し有害獣類の捕獲・駆除を行う。令和5年度に引き続き、令和6年度は白石島全域に既存8基＋新設2基の箱罠と1基の囲い罠の維持管理を島民有志によるボランティアにより行う。島内新聞【ふるさと新聞】によるイノシシ対応の啓発活動を増やし、島民のイノシシへの理解度を高めると共に、活動への理解と協力（個々の畑に柵の設置と維持）を引き続き呼びかける。掲載内容の工夫を検討中。毎年5月に前年度の年間捕獲数を掲載している。

6 予算額

201,000 円（うち交付金分 201,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 白石・島づくり委員会

活動No	1
活動名	白石島イノシシ対策部会

【収入の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	201,000	当該年度分
	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	
協力金	0	
計	201,000	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	8,000	〃
需用費	108,000	〃
役務費	51,000	〃
使用料及び賃借料	17,000	〃
備品購入費	17,000	〃
	0	〃
	0	〃
計	201,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
島外会議出席時船賃	3,680	白石島港⇄笠岡港 往復 (670円+1,170円)×1名×2回
登録手続き時船賃	3,680	白石島港⇄笠岡港 往復 (670円+1,170円)×2名
計	8,000	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
消耗品	4,884	ごみ袋(イノシン処理用):150L(12枚入)@1628×3p
消耗品	1,500	白スプレー:捕獲時日付表記用 @250×6本
消耗品	12,600	ゴム手袋(3双入)@780×10p 捕獲及び作業時使用 背抜き軍手(10双入)@1,200×4p 捕獲及び作業時使用
消耗品	6,900	充電池(8本入):トレイルカメラ用 @3,700×1p アルカリ単三電池(20本入):トレイルカメラ補助用 @800×4p
消耗品	3,000	SDカード トレイルカメラ用(2台分) @1,500×1ヶ カメラ用 @1,500×1ヶ
消耗品	1,245	クリアポケット(20入) @415×1p 書類整理用 コピー用紙A4 500枚入り @415×2包 提出書類・その他
消耗品	18,000	プリンターインク 6色@6,000×3p 写真・報告書等
消耗品	3,256	台車のタイヤ @1,628×2本 (前年度未購入の為) (イノシン運搬用:台車本体は令和2年、部会に寄付された物)
消耗品	1,314	除草剤 500ml @657×2本 箱罫内雑草処理用

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
食糧費	36,400	エサぬか@500×30俵=15,000 エサいも(中3本入) @214×50p×2回=21,400
食糧費	9,440	飲物:お茶等 作業時@160×10本×2回、埋設作業@160×5本×3回 飲物:お茶等 総会時@160×24本×1回
印刷製本費	1,900	コピー:領収書控@10×75枚、月報告書控@10×12枚×3名 コピー:添付書類(島内新聞等)@10×9枚 標示板'@10×70枚
印刷製本費	4,900	コピー:総会案内@10×22枚、資料@10×18枚×26セット
修繕料	2,110	サンダーの刃 @1,055×2枚 (罨修理に使用。使用の度、摩耗)
計	108,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
賠償責任(狩猟)保険	13,000	賠償責任(狩猟)保険 (加入必須) @5,000×3名-団体割引
振込手数料	220	振込手数料 (日本郵便) : 賠償責任(狩猟)保険
ハガキ代	1,449	総会案内状用 @63×23枚
狩猟登録費	17,700	狩猟登録手数料 @1,800×3名 狩猟税 @4,100×3名
燃料費	6,500	ガソリン代 40L : 草刈り時、修理時
運搬費	12,000	フェリー代 (軽トラ往復) 修繕資材購入時 @6,000×2回
計	51,000	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
費用	16,000	コンボレンタル料:イノシン埋設時 @5,000×2回(運転者付) コンボレンタル料:イノシン埋設時 @3,000×2回(重機のみ)
使用料	1,000	総会会場使用料
計	17,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
トレイルカメラ	16,230	デジタルトレイルカメラ FTC-002 @16,280×1台
計	17,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。